

農業振興部 公共事業評価シート

No	『芸西』 - 1		
事業名	農村地域防災減災事業	地区名	芸西 市町村名 芸西村
事業期間	平成29～32年度	事業主体	高知県
総事業費	277,000千円	負担割合	国:55% 県:35% 市:10% 地元:0%

◇事業概要（目的及び内容の説明）

①対象者

災害防止に関する対象者（対象施設）

ため池	農地 (ha)	農作物 (ha)	用排水路		農道 (m)	ビニール ハウス	住家 (戸)	公共建物 (戸)	村道		県道		
			上段：全壊 下段：半壊						上段：全壊 下段：半壊	(m)		(m)	
丸塚池	28.1	62.2	4183	528	70棟	3	2	152	108	2163	0	94	0
			950	657									
岩倉池	8.2	14.1	1506	354	12棟	5	1	626	50	246	108	2789	50
			0	0									
計	36.3	76.3	5689	882	82棟	8	3	2789	50	2789	50	2789	50
			950	657									

※公共建物…防災センター、簡易水道施設、揚水機場

②目的

十分な耐震性を有していないため池に耐震補強対策を実施し、地震時における堤体の決壊を防止することで住民の生命、財産及び生活を守るとともに、農業用施設等の防災機能の継続的な発揮による持続的な営農に寄与することを目的としている。

③内容（整備手法）

ため池	補強盛土 (上流側) m3	補強盛土 (下流側) m3	法面保護 (ブロックマット) m2	法面保護 (張り芝)	参考 (計画貯水量) m3
丸塚池	8,400	0	1,600		296,600
岩倉池	2,800	1,800	1,000	800	71,500

◇対象者とそのニーズ

①現状と課題

- ・芸西村では平坦地の農地93.3%においてほ場整備が実施されており、ほ場当たり20a～35aに区画整理された農地では、温暖な気候を利用した施設園芸が盛ん。本地区でもビニールハウスを利用したナス、ピーマン、花卉等の栽培が行われている。
- ・丸塚池、岩倉池は、震度5強相当の地震に対して十分な耐震性を有していないことが判明。万が一決壊すれば下流の人家や農業受益の他、集落や公道を直撃することが想定されており、早急な対策が必要。

②課題発生 of 要因と解決策

- ・耐震設計を取り入れた設計指針（平成12年）の制定前に築造された耐震設計を満たしていないため池であり、耐震設計を取り入れた基準での改修を行うことにより、被災防止・軽減を図る。

